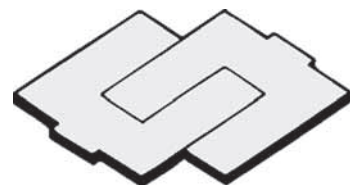


みんなには 議会であ



うりゅう



スポーツフェスティバル（7月7日）



●第2回定例会の審議結果	2～3
●一般質問 3名の議員が3項目にわたって議論	4～7
●行政常任委員会所管事務調査報告	8
●議員研修会	9

令和元年 第2回定例会

(令和元年6月20日)

審 議 結 果

No	議 件 名	結 果
1	雨竜町過疎地域自立促進市町村計画の一部変更について (雨竜町過疎地域自立促進市町村計画の事業内容の一部を変更するもの。)	原 案 可 決
2	雨竜町税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について (軽自動車税環境性能割の非課税、課税免除及び減免に係る規定について、北海道と統一した取扱いが必要なため、本条例の一部を改正するもの。)	原 案 可 決
3	雨竜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について (地方税法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴い、本条例の一部を改正するもの。)	原 案 可 決
4	令和元年度雨竜町一般会計補正予算(第1号) (76,003,000円を増額し、総額3,725,119,000円とする。)	原 案 可 決
5	雨竜町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について (児童福祉法に規定する放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、本条例の一部を改正するもの。)	原 案 可 決
6	雨竜町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について (児童福祉法に規定する家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、本条例の一部を改正するもの。)	原 案 可 決
7	雨竜町小規模企業振興基本条例の制定について (小規模企業振興基本方法の制定に伴い、小規模企業の地域経済の活性化を図るため、本条例を制定するもの。)	原 案 可 決
8	北海道市町村職員退職手当組合理約の一部を変更する規約について (加入団体の脱退に伴い、規約別表の変更について協議するため、本案を提出するもの。)	原 案 可 決
9	北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約の一部を変更する規約について (加入団体の脱退に伴い、規約別表第1の変更について協議するため、本案を提出するもの。)	原 案 可 決
10	北海道市町村総合事務組合理約の一部を変更する規約について (加入団体の脱退に伴い、規約別表第1及び別表第2の変更について協議するため、本案を提出するもの。)	原 案 可 決
11	雨竜町公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて 雨竜町字満寿31番地56 五十嵐 英昭 氏	同 意 可 決

No	議 件 名	結 果
12	平成30年度雨竜町一般会計繰越明許費に係る歳出予算の繰越した経費の報告について	報 告 済
13	雨竜町土地開発公社の業務報告について	報 告 済
14	株式会社雨竜町振興公社の業務報告について	報 告 済
15	令和元年度雨竜町わかば団地道路改良工事の請負契約について 契約の目的 令和元年度雨竜町わかば団地道路改良工事 契約の方法 指名競争入札 取得価格 65,340,000円 契約の相手方 北竜町字西川15番地の37 株式会社 北興建設 代表取締役 藤井 雅仁	原 案 可 決
16	令和元年度雨竜町一般会計補正予算（第2号） （12,008,000円を増額し、総額3,737,127,000円とする。）	原 案 可 決

補 正 予 算		
◇令和元年度一般会計補正予算（第1号） —原案可決— これまでの予算に76,003,000円を追加し、予算の総額が3,725,119,000円となりました。 （主な内容）		
総 務 費	まちづくり人材育成事業補助金	3,000,000円
農林水産業費	良質米生産対策助成金	7,500,000円
農林水産業費	特産品栽培ハウス設置補助金	4,000,000円
農林水産業費	強い農業・担い手づくり総合交付金	5,820,000円
農林水産業費	農業後継者就農育成事業補助金	7,500,000円
商 工 費	商工業振興・地域雇用推進事業補助金の増	12,000,000円
商 工 費	消費者活性化事業補助金	13,503,000円
消 防 費	消防団詰所等改修工事費	19,711,000円
◇令和元年度一般会計補正予算（第2号） —原案可決— これまでの予算に12,008,000円を追加し、予算の総額が3,737,127,000円となりました。 （主な内容）		
農林水産業費	客土用地購入費	12,000,000円

意 見 書

議員から提案された次の意見書について審議の結果、原案のとおり可決され、関係行政庁に郵送により提出しました。

○子どもたちへのより良い学習環境作りと働く教職員の労働環境改善を求める意見書

—原案可決—

○新たな過疎対策法の制定に関する意見書

—原案可決—

町政執行に対する 一般質問

令和元年第2回定例会が6月20日に招集され、今回は3人の議員が3項目にわたり一般質問しました。



町民の健康増進に対する 取り組みについて伺う

質問順1番

野村 耕次郎 議員

質 問

町長は町政執行方針に掲げております「健康やかに暮らし続けることができる環境の整備」として、「健康寿命の延伸を目指し、疾病の早期発見・重症化予防対策を主眼に」とうたわれております。近年、寿命が延びたと言われる一方で、生活習慣病をはじめとした疾病や障がいなどにより全国平均で自立した生活が送られる健康寿命は、平均寿命より10年前後短いと言われております。

これは支援や介護が必要な期間が10年前後あるということであり、今後は健康である期間をいかに延ばすかが重要であると考えます。

そこで町の取り組みとして、どのように進めているのか町長の考えを伺う。

町 長

長い人生の中でいつまでも元気で過ごすためには、健康寿命を伸ばすことが必要と考えます。

本町における寿命と健康寿命の差は全国平均より小さいものの、高齢化に伴って、がんの発症が増加していく事が予測されており、従来よりがん検診や各種検診の受診を広く呼びかけ、更には無償化等の対策により受診率の維持向上を目指しながら早期発見・早期治療を図っているところです。

そのような中で、町では高齢者の日常生活における介護予防支援強化のため、生活支援

整備事業を社会福祉協議会に委託し、昨年、高齢者が楽しみながら歩行運動機能を高める「ふまねっと事業」を開始したところであります。これは、まちづくりグループ会が行う「おいでサロン」と連携して行われているもので、今年はさらに広く普及を目指すものであります。

町としては、今後も健診受診の奨励と生活習慣の改善指導により疾病重症化予防と介護予防、さらには町民の健康づくりを進めていきたいと考えております。

再質問

町では町民に健診事業や健康増進に興味を持ってもらい、参加者の増加を図るためにいろいろと工夫された取り組みをされておりますが、健康増進事業では各地域で行われている冬期健康相談会においても、なかなか人集めが大変な現状であるように感じます。高齢者の健康ももちろんですが、多くの人に健康に興味を持ってもらい、実践してもらうことが将来の健康寿命に繋がると思います。

そういった健康意識を高めるためにも、誰もが気軽に参加できるきっかけ作りになるような取り組みが必要と考えるが、町長の考えを伺う。

町 長

健康意識を高めるために誰でも参加できるきっかけづくりになるような取り組みとのこ

とありますが、本年におきましては、買い物ポイントを付与する商工会のUPカード事業に、町の健診事業や健康増進事業等に対する行政ポイントの付与も開始したところであります。ポイント付与という実入り以上に、UPカードが宣伝媒体として人目に多く触れることにより、町と商工会それぞれの事業のPRに相乗効果が表れることを期待しているところであります。健康づくりについては、町民ひとり一人が主体となって取り組むことが不可欠であり、行政・地域・職場や関係団体なども一体となって健康づくりを推進する

事が望まれております。

今年度は「健康ウォーキング手帳」導入を担当課で検討しているところであります。これは毎日の歩数を記録する手帳で、この歩数をキロメートルに数換算し、双六のように記録していくもので、楽しみながら個人の行動範囲で取り組めるものと考えます。いずれにしても各主健診事業に加え、健康増進事業など健康につながる事業を引き続き工夫しながら取り組み、町民の健康寿命の延伸を目指したいと考えております。

定住促進対策について

質問順2番

吉見 拓也 議員



質 問

近年、少子高齢化と人口流出と流入の差による社会増減などにより、本町においても人口減少が続いております。町としては、様々な定住促進策を実施していますが、その中でも雨竜土地開発公社の事業として、平成29年に雨竜町定住促進団地を北市街地区に2区画の整備を行い、実質坪5円、1区画569円で分譲宅地を販売し、定住促進対策を進めています。

販売開始後、何件かの問い合わせがあった中、本年に入り1区画の売却が完了したことは、定住促進に向けた成果があったものと思います。

そこで、残り1区画についても早期の販売完了が目標とされるところですが、今後の販売に向けての具体的な取り組み策を町長に伺う。

町 長

北市街第1団地第2期分譲宅地2区画の造成については、土地開発公社の事業として実施し、雨竜町田園の里定住促進条例の中で「雨竜定住促進団地」として、町が奨励金を交付し、誰もが購入しやすい分譲地として平成29年10月より販売を開始したところであります。ご質問の今後の早期販売に向けての取り組み

ですが、土地開発公社としては継続したチラシの配布などが考えられますが、町としても町内・外に向け、子育て支援施策など本町の特色ある各種定住促進事業も合わせて、ホームページなどインターネットの活用を図りながら情報提供していき、土地開発公社が所有する「雨竜町定住促進団地」残り1区画の早期販売を推し進めてまいります。

再質問

今後残り1区画の早期販売に向けて、雨竜町のPRを含めた、より一層の周知を図りたいと思います。そこで、これからも移住定住対策による人口減少抑止の方策は継続して行かなければならないと考えますが、現在の土地開発公社の分譲宅地が完売する前に次の宅地造成を進め、複数戸区画が建設可能な団地化の形成により、地域コミュニティ化が図られ、更に定住者同士が繋がりを持つ団地形成が必要と考えます。

このことから、新たな定住促進に向けた宅地造成の早期実現と現在同様に誰もが分譲地を求めやすい環境を継続していく必要があると考えますが、今後の定住促進対策に向けた雨竜町定住促進団地の考え方を町長に伺う。

町 長

定住される方が安全・安心して住みやすい町として本町で暮らしていただき、地域との調和を保ちながら末永く安住していただくことは、本町としても大変期待するところがあります。その為には、雨竜町の知名度を上げ、住みやすい環境を今後もPRするとともに、宅地分譲については将来的に複数戸が建設可能な宅地造成を進めていくことが必要となってきます。

現段階では土地開発公社による次期分譲宅地造成の計画は具体化していませんが、今後も移住定住を促進し、人口流出の抑制と人口流入の推進をこれからも推し進めていかなければなりません。

このことから、町としては土地開発公社と十分協議しながら早期に適切な分譲地を選考し、雨竜町で暮らしたいと思えるような宅地環境の整備と誰もが購入しやすい宅地価格が設定できるような方策を検討してまいります。



2期目の町づくりの考え方は

質問順3番

沖田 浩一 議員

質 問

町長は1期目において、コンパクト庁舎の建設、子育て支援、農業振興対策等々、公約実現のため舵取りをされてきました。

今回、更なる町が抱える課題解決に向かい立起され、町民の評価が無投票という形で表れましたが、町長には今後の行政施策にプレッシャーが掛かっているのではないかと考えております。

現在の施策の継続や拡充、住宅問題、定住促進、商農業施策など、令和元年度町政執行方針で聞きましたが、2期目のスタートにあたり、4年間どのような考え方で町づくりに挑んでいくのか町長の考えを伺う。

町 長

平成27年4月から本年4月までの町長就任1期目の4年間につきましては、昨年9月末に完成しました「役場庁舎建替事業」においては、できる限りコンパクト化を図り、機能的で近代的な庁舎が完成し、町民からも親しまれる庁舎となりますよう、今後更に努めていかなければならないと考えております。雨竜町の基幹産業である農業の面では、国営・道営土地改良事業の推進により、農業基盤整備が図られ、農作業の円滑化・省力化が図られております。ライスコンビナート色彩選別機増設等により、雨竜米の更なるブランド化推進はもとより、暑寒メロンのハウス助

成や雨竜産米を使った日本酒の製造等、特産品を守り育てる施策の展開、商工施策の面では、プレミアム商品券の発行助成拡充や新たなポイントカードの導入、また子どもを産み育てやすい環境づくり、子育て支援対策事業といたしまして、定住促進事業の「出産祝い金」の大幅拡充や、保育園保育料・学童保育料の助成、学校給食費の助成、修学旅行費の助成など、子育て支援施策を手厚く実施させていただきました。

町民の健康増進・健康保持を図っていくことを目指し、各種検診の無料化や保健活動の充実等により検診受診率向上を図ってまいりました。高齢者に対する施策としては、シルバータクシー事業の拡充、高齢者等へ憩いの場の設置として、ボランティア団体のご協力のもと「おいでサロン」を開設し、多くの利用者に喜んで頂いております。

更に、雨竜町をPRしていく方策として、ホームページの全面リニューアル、ふるさと納税の大幅拡充、地域おこし協力隊の採用、北海道日本ハムファイターズとのパートナー協定締結等、公約に掲げた政策を中心としまして、新たな施策を1期目の4年間で数多く実施させていただきました。

このことは、職員間の綿密な連携協力によりスムーズに実施できたものであり、最終的には議会のご理解を頂いての実現ということであり感謝申し上げます。

さて、これからの2期目についてですが1期目同様、町民目線で町民との対話を大切に、町民が求めていることを的確に把握し、できるかがり行政執行に反映させていきたいと考えております。

20日の定例会第1日目において、「まちづくり人材育成事業補助金」、「良質米生産対策助成金」、「特産品栽培ハウス設置補助金」、「農業後継者就農育成事業補助金」、「商工業振興・地域雇用推進事業補助金」、「消費活性化事業補助金」6本の助成金・補助金を補正予算として提案させていただき、可決いただきました。全く新規のもの、拡充して継続させていただいたもの、ほぼ同様に継続させていただいたもの、それぞれございますが、いずれも政策的な予算であり、雨竜町の幅広い発展のために有効に活用いただけるよう願うところであります。

また、国営緊急農地再編整備事業雨竜暑寒地区及び国営施設応急対策事業新雨竜二期地区については事業の円滑な推進を図り、できるだけ早い完了を目指し、雨竜町農業の更なる発展に繋がっていくよう努めてまいります。

子育て支援に係る各施策につきましては、継続実施し、子どもを産み育てやすい環境づくりを進めてまいります。

今年からは新たに進める「わかば団地建設事業」は総体計画で95戸、事業期間12年という膨大なものですが、町民のニーズを幅広く的確に把握し、適切に整備し、住環境の充実を図ってまいりたいと考えます。

雨竜町が現在抱えている課題は山積してお

りますが、職員間の連携を更に強固なものとして、課題解決に努めてまいりたいと存じます。

再質問

町長や議員には4年という区切りがありますが、現在進んでいる国営事業を始め、団地建設事業等、長い目線で物事を考えなければなりません。財政の行方を見極め、振興基本計画に沿って調整をしなければならないが、中には新たな政策を取り入れながら緩やかでも右肩上がりの発展を目指していかなければならないと思います。

この町に住み続けるために、基本目標である「子どもからお年寄りまで、笑顔があふれ、未来に希望のもてるまちづくり」ということで、雨竜町に住んで良かったと思える町に、行政と議会が議論していきたいと考えております。再度町長の考えを伺う。

町長

2期目がスタートしたばかりですが、雨竜町振興基本計画のまちづくり目標「子どもからお年寄りまで、笑顔があふれ、未来に希望のもてるまちづくり」ということが、今後、遠い将来まで見据え、続けられるよう適切に行政運営をしていく重責を、現在私が担っていると考えております。財政基盤をしっかりと保持しながら、町民の声を拾い上げ、職員の英知を結集し、的確に行政を執行してまいりたいと考えております。

議会を傍聴してみませんか？

定例会は年4回、臨時会については、必要に応じて開かれます。

事前のお申し込みは不要ですので、直接、議場にお越しください。

次の定例会は9月に開かれる予定です。



行政常任委員会報告

第2回定例会までの閉会中に行った所管事務調査の結果内容を報告いたします。

期 日：令和元年6月5日（水）・6日（木）

＜調査結果＞

○雨竜町立学校における小中一貫教育制度導入について

雨竜町立学校は、施設一体型併設校を活用して子ども達への教育活動を行い、平成30年度からはコミュニティ・スクール制度を導入し、地域と学校が連携協力することで地域に開かれた学校づくりを目指している。

今後の雨竜町の教育において、義務教育9年間で子ども達に確かな学力を身につけさせることは必要であることや、現校舎の利便性を生かすことを考えた場合、「小中一貫教育制度」導入は必要不可欠な取り組みと考える。

小中一貫教育制度の導入校は、空知管内でもまだ数少ない状況であり、令和2年4月の雨竜町立学校への導入に向けては、教育関係者にて十分協議を行い、雨竜町に適した制度導入に向けて進められたい。

＜現地調査＞

現地調査では、6月5日に「JAきたそらち精米施設」、「町道暑寒別線復旧事業工事現場」の調査を行いました。



【JAきたそらち精米施設】



【町道暑寒別線復旧事業工事現場】



議員研修会

○北海道町村議会議員研修会

6月25日（火）、札幌コンベンションセンターにおいて、北海道町村議会議長会主催による議員研修会が開催され出席しました。

・講演 「どうなる？今後の日本」

政治評論家 有馬 晴海 氏

「地方は変わるか～議会はどう変わるか、
自治体はどう変えるか～」

中央大学名誉教授 佐々木 信夫 氏



○中空知ふるさと市町村圏議員交流会

7月8日（月）、ホテルスエヒロにおいて、中空知広域市町村圏組合主催による講演会が開催され出席しました。

・講演 「地域と共に歩むセコマの経営」

株式会社セコマ

代表取締役社長 丸谷 智保 氏



○空知町村議会議長会議員研修会

7月12日（金）、奈井江町文化ホールにおいて、空知町村議会議長会主催による議員研修会が開催され出席しました。

・講演 「地方自治体の防災・減災政策」

北海道大学 公共政策大学院

特任教授 高松 泰 氏



おもな議会のうごき (6月～7月)

6 月

5～6日 行政常任委員会

11日 北海道町村議会議長会定期総会及び研修会(札幌市) 議長

13日 議会運営委員会

16日 戦没者追悼式 議長

16日 陸上自衛隊旭川駐屯地創立記念祝賀会(旭川市) 副議長

17日 雨竜町観光協会総会 議長他

20日～27日 2回定例会

21日 本牧・洲本中央・恵岱別道営圃場整備事業竣工祝賀会 議長他

23日 空知地方支部中空知分会連合消防演習(奈井江町) 議長

25日 北海道町村議会議長会議員研修会(札幌市) 議長他

7 月

1日 町営プール開設安全祈願祭 議長

3日 雨竜沼登山安全祈願祭 議長他

5日 滝の川斎苑工事安全祈願祭 議長他

5日 雨竜消防演習 全議員

8日 中空知ふるさと市町村圏議員交流会(滝川市) 全議員

9日 町村議会新任議員研修会

12日 空知町村議会議長会議員交流会(奈井江町) 全議員

19日 国営緊急農地再編整備事業雨竜暑寒地区促進期成会総会 議長他

22日 交通安全祈願祭 議長

22日 議会広報特別委員会

26日 中空知町議会議員親睦交流会(上砂川町) 全議員

編集後記

議会だより第198号をお届けします。

今回は、改選後初の定例会の内容を掲載しました。

今年の北海道は例年になく降水量が少なく、作物等も水が欲しい状態が続いております。そのため、暑寒ダムの水量も大変少ない状態で、水不足の不安が続いています。

さて、今回の定例会で、西野町長は町政執行方針において、基本目標「子どもからお年寄りまで笑顔があふれ、未来に希望のもてるまちづくり」を提示しました。町民との対話を大切にし、その声を町政に反映させ明るく活力のある地域づくりを進めてもらいたいと思います。また、特産品である「うりゅう米」や「暑寒メロン」等の雨竜ブランドの確立を進めていく方針も示されました。

改選後の定例会は新人議員が期待と不安のあふれる中、一般質問も行われ、開会中緊張感あふれる姿が見られた定例会ではなかったかと感じられます。

終わりに、今年の夏も駆け足で過ぎ去ろうとしています。季節は夏から秋へと向かい、周りの景色も収穫の秋へと変化を始めていきます。皆様、季節の変わり目は体調変化に気

をつけていただき、良い収穫の秋になることを期待して、編集後記といたします。

(吉見 拓也 記)



「交通安全に気をつけてね！」
～夏の交通安全運動に参加した園児達～

議会広報特別委員会

委員長	木村 啓治
副委員長	佐々木 徹
委員	吉見 拓也